

第2回 親権の在り方専門委員会 平成22年5月31日	資料2
----------------------------------	-----

児童養護施設入所児童等調査結果

(平成20年2月1日現在)

厚生労働省雇用均等・児童家庭局

平成21年7月

目次

調査の概要	1
結果の概要	2
I 児童の現在の状況	2
1 児童の現在の年齢	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児、母子施設児)
2 児童の委託(入所)時の年齢	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児、母子施設児)
3 児童の委託(在所)期間	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児)
4 児童の委託(入所)経路	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児)
5 児童の就学状況	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、母子施設児)
6 児童の心身の状況	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児、母子施設児)
7 児童の罹患傾向	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児、母子施設児)
8 特に指導上留意している点	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、母子施設児)
9 学業の状況	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、母子施設児)
10 通学状況	(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、母子施設児)
II 委託(入所)時の家庭の状況(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児)	9
1 養護問題発生理由	
2 児童の被虐待経験の有無、虐待の種類	
3 委託(入所)時の保護者の状況	
III 家族との関係(里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児)	12
1 家族との交流関係	
2 児童の今後の見通し	
IV 里親家庭の状況	14
1 里親申込みの動機	
2 登録期間	
3 委託児童数	
4 里親の年齢	
5 里親の仕事の種類	
6 里親家庭の年間所得	
7 里親家庭の住宅所有状況	
V 母子生活支援施設入所世帯(母親)の状況	16
1 児童数	
2 入所理由及び在所期間	
3 入所時の年齢	
4 母子世帯になった理由	
5 年金等の受給状況	
6 公営住宅入居希望の有無及び現在の状況	
7 従業上の地位及び仕事の種類	
8 転職希望の有無	
9 年間所得	
10 母子生活支援施設に入所している児童の虐待経験の状況	

VI 児童養護施設の年長児童の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

- 1 年長児童の就学状況
- 2 児童の生活行動経験
- 3 大切なこと
- 4 高等学校（各種学校）進学希望
- 5 大学（短大）進学希望
- 6 将来の希望（1）－職業－
- 7 将来の希望（2）－家庭復帰、結婚、自立－
- 8 友人関係

VII 児童自立支援施設の年長児童の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

- 1 年長児童の就学状況
- 2 児童の生活行動経験
- 3 大切なこと
- 4 高等学校（各種学校）進学希望
- 5 大学（短大）進学希望
- 6 将来の希望（1）－職業－
- 7 将来の希望（2）－家庭復帰、結婚、自立－
- 8 友人関係

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、家庭状況等主として環境上の理由により、児童福祉法に基づいて、里親に委託されている児童、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設及び乳児院に措置されている児童、母子生活支援施設を利用している母子世帯の児童並びにその保護者の実態を明らかにして、要保護児童の福祉増進のための基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象及び客体

全国の里親委託児童、児童養護施設の入所児童、情緒障害児短期治療施設の入所児童、児童自立支援施設の入所児童、乳児院の入所児童及び母子生活支援施設の児童並びに保護者を対象とし、その全員を調査客体とした。

客体：里親委託児童 3,611人

児童養護施設入所児童 31,593人 (内、中学3年以上の年長児童 7,265人)

情緒障害児短期治療施設入所児童 1,104人

児童自立支援施設入所児童 1,995人 (内、中学3年以上の年長児童 1,019人)

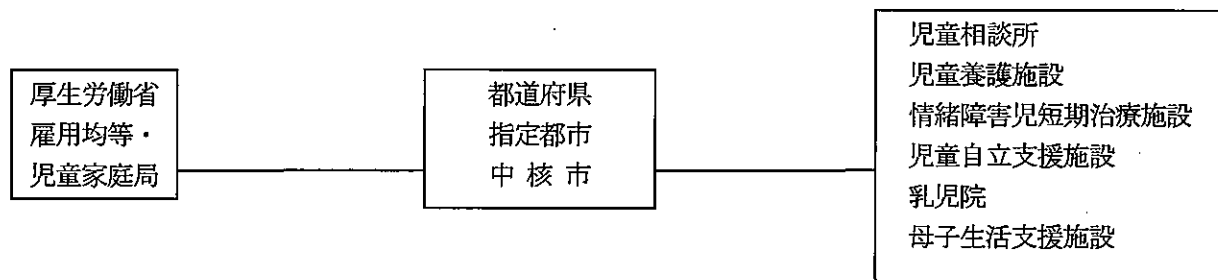
乳児院入所児童 3,299人

母子生活支援施設入所世帯 4,056世帯 及び 当該児童 6,552人

3 調査の時期

平成20年2月1日

4 調査の方法



5 結果の集計

結果の集計は、雇用均等・児童家庭局において行った。

6 観察上の注意

この調査は、すべて全数調査であり、以下の統計数字は実数値である。

以下では、里親に委託されている児童を「里親委託児」、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設及び乳児院に措置されている児童をそれぞれ「養護施設児」「情緒障害児」「自立施設児」「乳児院児」、母子生活支援施設に措置されている母子世帯の児童を「母子施設児」という。

なお、構成割合は四捨五入のため、内容の合計が総数に合わない場合もある。

※ 結果については、前回調査の数字を比較の参考として掲載している。

(前回調査日 平成15年2月1日)

結果の概要

I 児童の現在の状況

1 児童の現在の年齢（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児、母子施設児）

調査日（平成20年2月1日）現在の年齢別児童数は表1のとおりであるが、児童数は里親委託児が3,611人（前回2,454人）、養護施設児が31,593人（前回30,416人）、情緒障害児が1,104人（前回768人）、自立施設児が1,995人（前回1,657人）、乳児院児が3,299人（前回3,023人）、母子施設児が6,552人（前回7,089人）であった。

また、児童の平均年齢は、里親委託児9.3歳（前回8.5歳）、養護施設児10.6歳（前回10.2歳）、情緒障害児12.4歳（前回12.5歳）、自立施設児14.2歳（前回14.2歳）、乳児院児1.2歳（前回1.0歳）母子施設児7.3歳（前回7.9歳）と前回調査に比べ、里親委託児の年齢が上昇した以外は大きな変化はない。

表1 現在の年齢別児童数

	児 童 数						構成割合 (%)					
	里 親 委託児	養 護 施設児	情 緒 障害児	自 立 施設児	乳 児 院 児	母 子 施設児	里 親 委託児	養 護 施設児	情 緒 障害児	自 立 施設児	乳 児 院 児	母 子 施設児
総数	3,611	31,593	1,104	1,995	3,299	6,552	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
男	1,817	16,908	641	1,355	1,826	3,257	50.3	53.5	58.1	67.9	55.4	49.7
女	1,790	14,555	462	622	1,467	3,272	49.6	46.1	41.8	31.2	44.5	49.9
0歳	59	6	-	-	790	167	1.6	0.0	-	-	23.9	2.5
1歳	119	34	-	-	1,222	352	3.3	0.1	-	-	37.0	5.4
2歳	160	454	-	-	931	456	4.4	1.4	-	-	28.2	7.0
3歳	228	1,120	-	-	276	453	6.3	3.5	-	-	8.4	6.9
4歳	217	1,520	1	-	62	532	6.0	4.8	0.1	-	1.9	8.1
5歳	249	1,711	-	-	16	523	6.9	5.4	-	-	0.5	8.0
6歳	220	1,858	4	-	1	491	6.1	5.9	0.4	-	0.0	7.5
7歳	234	1,860	40	-	-	441	6.5	5.9	3.6	-	-	6.7
8歳	217	1,973	54	4	-	439	6.0	6.2	4.9	0.2	-	6.7
9歳	196	2,095	70	18	-	439	5.4	6.6	6.3	0.9	-	6.7
10歳	181	2,300	101	36	-	413	5.0	7.3	9.1	1.8	-	6.3
11歳	196	2,389	140	53	-	364	5.4	7.6	12.7	2.7	-	5.6
12歳	179	2,486	130	116	-	359	5.0	7.9	11.8	5.8	-	5.5
13歳	183	2,466	142	266	-	291	5.1	7.8	12.9	13.3	-	4.4
14歳	195	2,349	153	563	-	253	5.4	7.4	13.9	28.2	-	3.9
15歳	216	2,356	129	655	-	222	6.0	7.5	11.7	32.8	-	3.4
16歳	190	1,745	57	171	-	144	5.3	5.5	5.2	8.6	-	2.2
17歳	192	1,581	45	78	-	131	5.3	5.0	4.1	3.9	-	2.0
18歳以上	178	1,256	36	33	-	69	4.9	4.0	3.3	1.7	-	1.1
平均年齢	9.3歳	10.6歳	12.4歳	14.2歳	1.2歳	7.3歳	・	・	・	・	・	・

注) 総数には、性別不詳、年齢不詳を含む。

2 児童の委託（入所）時の年齢（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児、母子施設児）

児童の委託時または入所時の年齢は、里親委託児では1歳、養護施設児では2歳、情緒障害児では10歳、自立施設児では13歳、乳児院児及び母子施設児では0歳が最も多くなっている。

また、6歳未満で委託または入所した児童は、乳児院児の全部をはじめ、里親委託児で59.4%（前回72.0%）、養護施設児で53.8%（前回54.9%）、母子施設児で57.8%（前回57.9%）となっている。12歳以上で入所した児童は、養護施設児で12.0%（前回12.0%）、情緒障害児で39.9%（前回45.6%）、自立施設児で87.1%（前回87.4%）となっている。

表2 委託時又は入所時の年齢別児童数

	児童数						構成割合 (%)					
	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児	母子施設児	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児	母子施設児
総数	3,611	31,593	1,104	1,995	3,299	6,552	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0歳	358	59	-	-	2,543	756	9.9	0.2	-	-	77.1	11.5
1歳	437	968	-	-	597	682	12.1	3.1	-	-	18.1	10.4
2歳	427	6,763	-	-	134	646	11.8	21.4	-	-	4.1	9.9
3歳	422	3,949	1	-	16	595	11.7	12.5	0.1	-	0.5	9.1
4歳	266	2,819	2	-	6	603	7.4	8.9	0.2	-	0.2	9.2
5歳	236	2,442	5	-	-	506	6.5	7.7	0.5	-	-	7.7
6歳	193	2,432	55	3	-	490	5.3	7.7	5.0	0.2	-	7.5
7歳	201	1,977	95	5	-	385	5.6	6.3	8.6	0.3	-	5.9
8歳	152	1,881	107	15	-	334	4.2	6.0	9.7	0.8	-	5.1
9歳	114	1,657	131	44	-	326	3.2	5.2	11.9	2.2	-	5.0
10歳	123	1,511	148	53	-	309	3.4	4.8	13.4	2.7	-	4.7
11歳	101	1,259	120	135	-	245	2.8	4.0	10.9	6.8	-	3.7
12歳	117	1,154	146	239	-	179	3.2	3.7	13.2	12.0	-	2.7
13歳	116	1,053	141	608	-	153	3.2	3.3	12.8	30.5	-	2.3
14歳	107	864	107	606	-	104	3.0	2.7	9.7	30.4	-	1.6
15歳	86	505	35	218	-	72	2.4	1.6	3.2	10.9	-	1.1
16歳	94	163	8	49	-	34	2.6	0.5	0.7	2.5	-	0.5
17歳	28	43	3	16	-	16	0.8	0.1	0.3	0.8	-	0.2
18歳以上	19	9	-	2	-	4	0.5	0.0	-	0.1	-	0.1
平均年齢	5.5歳	5.9歳	10.6歳	13.1歳	0.3歳	5.2歳	・	・	・	・	・	・

注) 総数には、年齢不詳を含む。

3 児童の委託（在所）期間（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児）

児童の委託期間または在所期間は、里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児のいずれの場合も「1年未満」が最も多く、期間が長くなるに従い児童数が漸減している。

また平均委託（在所）期間は、里親委託児3.9年（前回4.2年）、養護施設児4.6年（前回4.4年）、情緒障害児1.9年（前回1.7年）、自立施設児1.1年（前回1.0年）、乳児院児1.1年（前回0.9年）となっている。

表3 委託期間又は在所期間別児童数

	児 童 数					構 成 割 合 (%)				
	里 親 委託児	養 護 施設児	情 緒 障害児	自 立 施設児	乳 児 院 児	里 親 委託児	養 護 施設児	情 緒 障害児	自 立 施設児	乳 児 院 児
総 数	3,611	31,593	1,104	1,995	3,299	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
1年未満	862	5,410	372	1,079	1,705	23.9	17.1	33.7	54.1	51.7
1年以上-2年未満	584	4,416	359	652	1,056	16.2	14.0	32.5	32.7	32.0
2年以上-3年未満	510	3,621	160	165	418	14.1	11.5	14.5	8.3	12.7
3年以上-4年未満	352	3,182	102	67	94	9.7	10.1	9.2	3.4	2.8
4年以上-5年未満	318	2,582	56	21	18	8.8	8.2	5.1	1.1	0.5
5年以上-6年未満	219	2,255	29	5	6	6.1	7.1	2.6	0.3	0.2
6年以上-7年未満	143	2,160	9	-	-	4.0	6.8	0.8	-	-
7年以上-8年未満	114	1,783	8	1	1	3.2	5.6	0.7	0.1	0.0
8年以上-9年未満	89	1,475	5	-	-	2.5	4.7	0.5	-	-
9年以上-10年未満	75	1,163	3	-	-	2.1	3.7	0.3	-	-
10年以上-11年未満	68	959	-	-	-	1.9	3.0	-	-	-
11年以上-12年未満	58	843	-	-	-	1.6	2.7	-	-	-
12年以上	216	1,653	1	1	-	6.0	5.2	0.1	0.1	-
平均 期 間	3.9年	4.6年	1.9年	1.1年	1.1年	・	・	・	・	・

注) 総数には、期間不詳を含む。

4 児童の委託（入所）経路（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児）

児童の委託経路または入所経路をみると、里親委託児では「家庭から」44.3%（前回34.7%）、「乳児院から」27.0%（前回32.6%）、「児童養護施設から」19.7%（前回23.7%）が多く、養護施設児、情緒障害児、自立施設児及び乳児院児では「家庭から」が、それぞれ71.5%（前回74.1%）、79.8%（前回84.8%）、63.5%（前回65.3%）、86.2%（前回75.4%）とそのほとんどを占めている。また、自立施設児では家庭裁判所からの決定によるものが、17.4%（前回17.0%）である。

表4 委託経路又は入所経路別児童数

	総数	家庭から	乳児院から	児童養護施設から	他の児童福祉施設から	里親家庭から	家庭裁判所から	その他から	不詳
里親委託児	3,611 100.0%	1,600 44.3%	975 27.0%	710 19.7%	63 1.7%	122 3.4%	*	111 3.1%	30 0.8%
養護施設児	31,593 100.0%	22,579 71.5%	6,170 19.5%	904 2.9%	763 2.4%	448 1.4%	41 0.1%	394 1.2%	294 0.9%
情緒障害児	1,104 100.0%	881 79.8%	1 0.1%	174 15.8%	14 1.3%	30 2.7%	-	-	4 0.4%
自立施設児	1,995 100.0%	1,267 63.5%	*	267 13.4%	58 2.9%	23 1.2%	347 17.4%	-	33 1.7%
乳児院児	3,299 100.0%	2,844 86.2%	60 1.8%	*	*	15 0.5%	*	375 11.4%	5 0.2%

注) *は調査項目としていない。

「家庭裁判所から」は、入所前に生活していた場所に関係なく、保護処分により入所したことをいう。

5 児童の就学状況（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、母子施設児）

児童の就学状況をみると、里親委託児及び母子施設児では「就学前」が最も多く、それぞれ34.0%（前回41.8%）、42.1%（前回41.2%）となっており、養護施設児、情緒障害児及び自立施設児では「中学校」が多く、それぞれ22.7%（前回21.4%）、40.6%（前回45.8%）、74.0%（前回76.4%）となっている。

なお、「中学校卒」は、里親委託児16.7%（前回15.0%）、養護施設児15.4%（前回14.1%）、情緒障害児13.3%（前回10.5%）、自立施設児15.8%（前回13.3%）となっており、割合は増加している。

表5 就学状況別児童数

	総数	就学前	小学校低学年(1~3)	小学校高学年(4~6)	中学校	中学卒			不詳
						公立高校	私立高校	その他	
里親委託児	3,611 100.0%	1,228 34.0%	637 17.6%	562 15.6%	569 15.8%	370 10.2%	141 3.9%	93 2.6%	11 0.3%
養護施設児	31,593 100.0%	6,388 20.2%	5,831 18.5%	7,083 22.4%	7,161 22.7%	3,519 11.1%	961 3.0%	399 1.3%	251 0.8%
情緒障害児	1,104 100.0%	3 0.3%	145 13.1%	361 32.7%	448 40.6%	107 9.7%	21 1.9%	19 1.7%	-
自立施設児	1,995 100.0%	-	18 0.9%	185 9.3%	1,476 74.0%	85 4.3%	17 0.9%	213 10.7%	1 0.1%
母子施設児	6,552 100.0%	2,759 42.1%	1,304 19.9%	1,155 17.6%	798 12.2%	235 3.6%	81 1.2%	51 0.8%	169 2.6%

6 児童の心身の状況（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児、母子施設児）

児童の心身の状況については、里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児及び母子施設児において「障害等あり」の割合が、それぞれ18.0%（前回12.6%）、23.4%（前回20.2%）、70.7%（前回59.5%）、35.4%（前回27.3%）、32.3%（前回30.4%）、16.3%（前回12.5%）となっており、いずれも増えている。

表6 心身の状況別児童数

	総数	障害等あり	障害等あり内訳（重複回答）									
			身体虚弱	肢体不自由	視聴覚障害	言語障害	知的障害	てんかん	ADHD	LD	広汎性発達障害	その他の障害等
里親委託児	3,611 100.0%	649 18.0%	95 2.6%	25 0.7%	34 0.9%	27 0.7%	239 6.6%	26 0.7%	55 1.5%	18 0.5%	74 2.0%	150 4.2%
養護施設児	31,593 100.0%	7,384 23.4%	753 2.4%	131 0.4%	246 0.8%	411 1.3%	2,968 9.4%	391 1.2%	791 2.5%	343 1.1%	815 2.6%	2,314 7.3%
情緒障害児	1,104 100.0%	781 70.7%	7 0.6%	5 0.5%	3 0.3%	4 0.4%	118 10.7%	23 2.1%	131 11.9%	35 3.2%	186 16.8%	496 44.9%
自立施設児	1,995 100.0%	707 35.4%	19 1.0%	6 0.3%	11 0.6%	11 0.6%	186 9.3%	31 1.6%	179 9.0%	63 3.2%	146 7.3%	263 13.2%
乳児院児	3,299 100.0%	1,067 32.3%	674 20.4%	106 3.2%	94 2.8%	101 3.1%	183 5.5%	61 1.8%	7 0.2%	-	30 0.9%	284 8.6%
母子施設児	6,552 100.0%	1,067 16.3%	223 3.4%	27 0.4%	29 0.4%	64 1.0%	246 3.8%	54 0.8%	86 1.3%	67 1.0%	123 1.9%	397 6.1%

7 児童の罹患傾向（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児、母子施設児）

児童の罹患傾向をみると、「罹患傾向あり」が里親委託児で14.0%（前回15.9%）、養護施設児で20.0%（前回20.1%）、情緒障害児で23.6%（前回25.5%）、自立施設児で20.8%（前回15.9%）、乳児院児で61.5%（前回66.8%）、母子施設児で32.4%（前回32.0%）となっており、特に、自立施設児で増加しており、乳児院児で減少している。

表7 罹患傾向別児童数

	総数	罹患傾向あり	罹患状況内訳（重複回答）					
			ひきつけたことがある	下痢をしやすい	よく熱をだす	風邪をひきやすい	湿疹が出やすい	その他
里親委託児	3,611 100.0%	505 14.0%	31 0.9%	15 0.4%	60 1.7%	147 4.1%	90 2.5%	214 5.9%
養護施設児	31,593 100.0%	6,319 20.0%	342 1.1%	531 1.7%	879 2.8%	2,016 6.4%	1,369 4.3%	2,420 7.7%
情緒障害児	1,104 100.0%	261 23.6%	7 0.6%	26 2.4%	16 1.4%	52 4.7%	52 4.7%	142 12.9%
自立施設児	1,995 100.0%	414 20.8%	8 0.4%	41 2.1%	36 1.8%	75 3.8%	105 5.3%	193 9.7%
乳児院児	3,299 100.0%	2,030 61.5%	190 5.8%	281 8.5%	717 21.7%	1,069 32.4%	583 17.7%	568 17.2%
母子施設児	6,552 100.0%	2,124 32.4%	168 2.6%	272 4.2%	559 8.5%	1,196 18.3%	235 3.6%	541 8.3%

8 特に指導上留意している点（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、母子施設児）

特に指導上留意している点については、全員が「留意している点あり」と答えている。

「心の安定」を留意点としてあげているのは共通している傾向であるが、里親委託児では次いで「里親との関係」35.5%、養護施設児では「家族との関係」53.7%、情緒障害児では一番が「家族との関係」67.2%、次いで「友人との関係」61.7%、自立施設児では「社会規範」56.6%及び「家族との関係」55.0%、母子施設児では「家族との関係」41.1%などが多くなっている。

表8-1 特に指導上留意している点別児童数

	総数	留意している点あり	留意点（重複回答）							
			心の安定	友人との関係	家族との関係	学習の興味・関心	しつけ	心理的対応	社会規範	職員（里親）との関係
里親委託児	3,611 100.0%	3,611 100.0%	1,733 48.0%	641 17.8%	716 19.8%	741 20.5%	1,024 28.4%	237 6.6%	336 9.3%	1,283 35.5%
養護施設児	31,593 100.0%	31,593 100.0%	21,146 66.9%	12,170 38.5%	16,956 53.7%	11,025 34.9%	12,101 38.3%	5,743 18.2%	6,517 20.6%	10,090 31.9%
情緒障害児	1,104 100.0%	1,104 100.0%	657 59.5%	681 61.7%	742 67.2%	343 31.1%	254 23.0%	504 45.7%	275 24.9%	407 36.9%
自立施設児	1,995 100.0%	1,995 100.0%	1,232 61.8%	943 47.3%	1,097 55.0%	665 33.3%	561 28.1%	290 14.5%	1,129 56.6%	626 31.4%
母子施設児	6,552 100.0%	6,552 100.0%	3,647 55.7%	2,344 35.8%	2,690 41.1%	1,624 24.8%	2,226 34.0%	796 12.1%	745 11.4%	975 14.9%

(表8-2につづく)

表8-2 特に指導上留意している点別児童数

	留意点（重複回答）									
	思いやり	将来設計	男女交際	自主性積極性	自己表現力	文化・生活習慣	経済観念	医療的対応	就職及び職業の安定	行動上の問題
里親委託児	545 15.1%	417 11.5%	91 2.5%	334 9.2%	362 10.0%	295 8.2%	138 3.8%	181 5.0%	123 3.4%	169 4.7%
養護施設児	10,761 34.1%	4,854 15.4%	2,376 7.5%	6,609 20.9%	12,000 38.0%	6,440 20.4%	2,869 9.1%	2,107 6.7%	1,158 3.7%	2,789 8.8%
情緒障害児	181 16.4%	162 14.7%	103 9.3%	244 22.1%	552 50.0%	290 26.3%	74 6.7%	207 18.8%	28 2.5%	206 18.7%
自立施設児	547 27.4%	399 20.0%	228 11.4%	441 22.1%	733 36.7%	354 17.7%	100 5.0%	213 10.7%	107 5.4%	387 19.4%
母子施設児	1,939 29.6%	375 5.7%	115 1.8%	853 13.0%	1,492 22.8%	992 15.1%	156 2.4%	242 3.7%	49 0.7%	452 6.9%

9 学業の状況（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、母子施設児）

学業の状況については、里親委託児、養護施設児及び母子施設児では「特に問題なし」が最も高く、その割合はそれぞれ43.9%（前回37.6%）、47.8%（前回46.2%）、45.4%（前回41.3%）となっているが、情緒障害児及び自立施設児では「遅れがある」が最も高く、その割合はそれぞれ53.4%（前回57.0%）、64.0%（前回66.9%）となっている。

表9 学業の状況別児童数

	総数	すぐれている	特に問題なし	遅れがある	不詳
里親委託児	3,611 100.0%	175 4.8%	1,587 43.9%	573 15.9%	1,276 35.3%
養護施設児	31,593 100.0%	1,231 3.9%	15,097 47.8%	8,661 27.4%	6,604 20.9%
情緒障害児	1,104 100.0%	20 1.8%	484 43.8%	590 53.4%	10 0.9%
自立施設児	1,995 100.0%	82 4.1%	599 30.0%	1,277 64.0%	37 1.9%
母子施設児	6,552 100.0%	233 3.6%	2,976 45.4%	997 15.2%	2,346 35.8%

10 通学状況（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、母子施設児）

通学状況については、里親委託児、養護施設児、情緒障害児及び母子施設児ともに「普通に通学」が最も多く、その割合はそれぞれ61.9%（前回54.4%）、75.8%（前回73.0%）、89.6%（前回82.8%）、50.1%（前回51.4%）となっている。

表10 通学状況別児童数

	総数	普通に通学	欠席しがち	不詳
里親委託児	3,611 100.0%	2,235 61.9%	88 2.4%	1,288 35.7%
養護施設児	31,593 100.0%	23,937 75.8%	1,025 3.2%	6,631 21.0%
情緒障害児	1,104 100.0%	989 89.6%	98 8.9%	17 1.5%
母子施設児	6,552 100.0%	3,281 50.1%	938 14.3%	2,333 35.6%

II 委託（入所）時の家庭の状況（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児）

1 養護問題発生理由

養護問題発生理由の主なものは、里親委託児の場合には「養育拒否」16.0%（前回19.9%）、「父又は母の行方不明」14.3%（前回14.7%）であり、養護施設児の場合には「父又は母の虐待・酷使」14.4%（前回11.1%）、「父又は母の放任・怠だ」13.8%（前回11.7%）、乳児院児の場合には「父又は母の精神疾患等」19.1%（前回14.9%）、「父又は母の虐待・酷使」9.2%（前回4.6%）となっている。

また、情緒障害児の場合には「父又は母の虐待・酷使」26.5%（前回22.9%）、「父又は母の放任・怠だ」16.4%（前回14.1%）であり、自立施設児の場合には「父又は母の放任・怠だ」22.3%（前回20.7%）、「父又は母の虐待・酷使」17.0%（前回11.3%）となっている。

なお、一般的に「虐待」とされる「放任・怠だ」「虐待・酷使」「棄児」「養育拒否」を合計すると、里親委託児は全体の36.7%（前回40.4%）、養護施設児33.1%（前回27.4%）、情緒障害児47.9%（前回42.1%）、自立施設児45.8%（前回37.5%）、乳児院児27.2%（前回20.5%）となっており、前回調査に比し里親を除き、すべての施設において虐待を理由とした委託及び入所が増えている。

表11 養護問題発生理由別児童数

	児童数					構成割合(%)				
	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児
総数	3,611	31,593	1,104	1,995	3,299	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
父の死亡	46	195	14	9	2	1.3	0.6	1.3	0.5	0.1
母の死亡	192	580	10	25	35	5.3	1.8	0.9	1.3	1.1
父の行方不明	109	328	2	16	8	3.0	1.0	0.2	0.8	0.2
母の行方不明	408	1,869	14	28	136	11.3	5.9	1.3	1.4	4.1
父母の離婚	136	1,304	52	203	82	3.8	4.1	4.7	10.2	2.5
両親の未婚	*	*	*	*	260	*	*	*	*	7.9
父母の不和	21	252	19	49	42	0.6	0.8	1.7	2.5	1.3
父の拘禁	65	563	10	24	30	1.8	1.8	0.9	1.2	0.9
母の拘禁	108	1,048	15	24	146	3.0	3.3	1.4	1.2	4.4
父の入院	31	327	4	8	5	0.9	1.0	0.4	0.4	0.2
母の入院	159	1,506	10	12	122	4.4	4.8	0.9	0.6	3.7
家族の疾病の付添	*	*	*	*	14	*	*	*	*	0.4
次子出産	*	*	*	*	22	*	*	*	*	0.7
父の就労	82	1,762	13	19	24	2.3	5.6	1.2	1.0	0.7
母の就労	99	1,293	19	72	221	2.7	4.1	1.7	3.6	6.7
父の精神疾患等	12	180	7	15	7	0.3	0.6	0.6	0.8	0.2
母の精神疾患等	277	3,197	145	158	622	7.7	10.1	13.1	7.9	18.9
父の放任・怠だ	34	654	29	100	13	0.9	2.1	2.6	5.0	0.4
母の放任・怠だ	319	3,707	152	346	276	8.8	11.7	13.8	17.3	8.4
父の虐待・酷使	102	1,849	137	181	119	2.8	5.9	12.4	9.1	3.6
母の虐待・酷使	156	2,693	156	158	184	4.3	8.5	14.1	7.9	5.6
棄児	134	166	3	12	50	3.7	0.5	0.3	0.6	1.5
養育拒否	579	1,378	52	116	256	16.0	4.4	4.7	5.8	7.8
破産等の経済的理由	210	2,390	22	24	188	5.8	7.6	2.0	1.2	5.7
児童の問題による監護困難	36	1,047	117	148	21	1.0	3.3	10.6	7.4	0.6
その他	217	2,674	92	192	353	6.0	8.5	8.3	9.6	10.7
不詳	79	631	10	56	61	2.2	2.0	0.9	2.8	1.8

注) *は、調査項目としていない。

2 児童の被虐待経験の有無、虐待の種類

「虐待経験あり」の割合をみると、里親委託児で31.5%、養護施設児で53.4%、情緒障害児で71.6%、自立施設児で65.9%、乳児院児で32.3%となっている。

また、里親委託児、養護施設児及び乳児院児でネグレクトが最も多く、その割合は67.1%、66.2%、71.4%である。情緒障害児及び自立施設児で身体的虐待が最も多く、その割合は60.5%、59.5%である。

表12 被虐待経験の有無及び虐待の種類

	総数	虐待経験あり	虐待経験の種類（複数回答）				虐待経験なし	不明
			身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待		
里親委託児	3,611	1,138	348	56	764	174	2,219	237
	100.0%	31.5%	30.6%	4.9%	67.1%	15.3%	61.5%	6.6%
養護施設児	31,593	16,867	6,707	664	11,159	3,440	12,902	1,752
	100.0%	53.4%	39.8%	3.9%	66.2%	20.4%	40.8%	5.5%
情緒障害児	1,104	790	478	67	372	254	295	17
	100.0%	71.6%	60.5%	8.5%	47.1%	32.2%	26.7%	1.5%
自立施設児	1,995	1,314	782	422	597	276	528	142
	100.0%	65.9%	59.5%	32.1%	45.4%	21.0%	26.5%	7.1%
乳児院児	3,299	1,066	335	8	761	98	2,091	126
	100.0%	32.3%	31.4%	0.8%	71.4%	9.2%	63.4%	3.8%

注) 総数には不詳を含む。

3 委託（入所）時の保護者の状況

委託（入所）時に「両親又は一人親あり」の割合をみると、里親委託児で67.7%（前回67.8%）、養護施設児で83.2%（前回91.5%）、情緒障害児で87.3%（前回85.3%）、自立施設児で87.7%（前回89.1%）、乳児院児で89.0%（前回84.6%）となっており、里親委託児で最も低くなっている。

「両親又は一人親あり」の児童についてみると、最も割合の多い保護者は、里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児が「実母のみ」でそれぞれ59.0%（前回56.9%）、42.5%（前回38.1%）、46.5%（前回36.6%）、45.1%（前回40.3%）であり、乳児院児が「実父母有」で52.4%（前回46.9%）となっている。

「両親ともいない・不明」の児童についてみると、祖父母が養育を行っている割合が高い。

表13-1 委託（入所）時の保護者の状況別児童数

	総数	両親又は一人親	両親ともいない	両親とも不明	不詳
里親委託児	3,611	2,443	769	243	156
	100.0%	67.7%	21.3%	6.7%	4.3%
養護施設児	31,593	26,277	2,730	708	1,878
	100.0%	83.2%	8.6%	2.2%	5.9%
情緒障害児	1,104	964	94	7	39
	100.0%	87.3%	8.5%	0.6%	3.5%
自立施設児	1,995	1,750	126	23	96
	100.0%	87.7%	6.3%	1.2%	4.8%
乳児院児	3,299	2,935	68	65	231
	100.0%	89.0%	2.1%	2.0%	7.0%

表13-2 両親又は一人親ありの内訳別児童数

	総数	実父母有	実父のみ	実母のみ	実父養母	養父実母	養父養母	養父のみ	養母のみ	不詳
里親委託児	2,443 100.0%	515 21.1%	342 14.0%	1,441 59.0%	37 1.5%	88 3.6%	5 0.2%	9 0.4%	4 0.2%	2 0.1%
養護施設児	26,277 100.0%	7,301 27.8%	4,858 18.5%	11,161 42.5%	662 2.5%	2,029 7.7%	48 0.2%	108 0.4%	74 0.3%	36 0.1%
情緒障害児	964 100.0%	251 26.0%	80 8.3%	448 46.5%	54 5.6%	118 12.2%	3 0.3%	4 0.4%	6 0.6%	- -
自立施設児	1,750 100.0%	432 24.7%	218 12.5%	790 45.1%	70 4.0%	221 12.6%	5 0.3%	8 0.5%	4 0.2%	2 0.1%
乳児院児	2,935 100.0%	1,537 52.4%	84 2.9%	1,251 42.6%	5 0.2%	44 1.5%	4 0.1%	1 0.0%	2 0.1%	7 0.2%

表13-3 両親ともいない・不明の内訳別児童数

	総数	祖父母	養父母 の親	兄・姉	義兄 義姉	伯(叔) 父母	義伯 (叔) 父 母	里親	その他	なし	不明	不詳
里親委託児	1,012 100.0%	331 32.7%	3 0.3%	17 1.7%	1 0.1%	69 6.8%	2 0.2%	47 4.6%	327 32.3%	82 8.1%	118 11.7%	15 1.5%
養護施設児	3,438 100.0%	1,047 30.5%	16 0.5%	122 3.5%	16 0.5%	252 7.3%	26 0.8%	157 4.6%	1,381 40.2%	170 4.9%	147 4.3%	104 3.0%
情緒障害児	101 100.0%	26 25.7%	- -	4 4.0%	1 1.0%	8 7.9%	- -	9 8.9%	39 38.6%	10 9.9%	2 2.0%	2 2.0%
自立施設児	149 100.0%	49 32.9%	1 0.7%	10 6.7%	- -	20 13.4%	- -	8 5.4%	49 32.9%	6 4.0%	- -	6 4.0%
乳児院児	133 100.0%	27 20.3%	20 15.0%	- -	1 0.8%	2 1.5%	- -	9 6.8%	19 14.3%	11 8.3%	6 4.5%	38 28.6%

Ⅲ 家族との関係（里親委託児、養護施設児、情緒障害児、自立施設児、乳児院児）

1 家族との交流関係

家族との交流関係について「交流なし」の割合は、里親委託児で71.9%（前回75.7%）、養護施設児で16.1%（前回16.6%）、情緒障害児で9.0%（前回7.2%）、自立施設児で7.3%（前回11.5%）、乳児院児で20.2%（前回23.4%）となっており、特に、里親委託児で「交流なし」が高くなっている。施設入所児童の交流では帰省の割合が高く、養護施設児で52.7%（前回51.6%）、情緒障害児で69.0%（前回72.4%）、自立施設児で45.3%（前回48.1%）となっているが、乳児院児では面会の割合が多く、51.3%（前回48.3%）となっている。

表14-1 家族との交流関係別児童数

	総数	交流あり			交流なし	不詳
		帰省	面会	電話手紙連絡		
里親委託児	3,611 100.0%	327 9.1%	461 12.8%	193 5.3%	2,598 71.9%	32 0.9%
養護施設児	31,593 100.0%	16,657 52.7%	5,947 18.8%	3,020 9.6%	5,071 16.1%	898 2.8%
情緒障害児	1,104 100.0%	762 69.0%	180 16.3%	55 5.0%	99 9.0%	8 0.7%
自立施設児	1,995 100.0%	904 45.3%	309 15.5%	147 7.4%	146 7.3%	489 24.5%
乳児院児	3,299 100.0%	652 19.8%	1,693 51.3%	237 7.2%	667 20.2%	50 1.5%

次に家族との交流頻度であるが、電話・手紙において「年2回～11回」が最も高く、里親委託児52.8%（前回49.3%）、養護施設児63.5%（前回61.6%）、情緒障害児で67.3%（前回64.5%）、自立施設児51.7%（前回52.9%）、乳児院児47.7%（前回57.4%）であった。

また、面会において「月1回以上」が最も高かったのは乳児院児48.9%（前回47.7%）であった。「年2回～11回」が最も高かったのは、里親委託児62.3%（前回52.5%）、養護施設児68.5%（前回67.5%）、情緒障害児63.9%（前回62.3%）、自立施設児60.8%（前回58.2%）であった。

さらに、帰省において「月1回以上」が最も高かったのは乳児院児で61.2%（前回56.7%）、情緒障害児49.6%（前回62.8%）であった。「年2回～11回」が最も高かったのは、里親委託児54.4%（前回54.3%）、養護施設児70.2%（前回71.0%）、自立施設児72.2%（前回76.2%）であった。

表14-2 家族との交流頻度別児童数

	児童数					構成割合 (%)				
	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児	里親委託児	養護施設児	情緒障害児	自立施設児	乳児院児
【電話・手紙】										
総数	193	3,020	55	147	237	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月1回以上	34	590	9	50	85	17.6%	19.5%	16.4%	34.0%	35.9%
年2回～11回	102	1,917	37	76	113	52.8%	63.5%	67.3%	51.7%	47.7%
年1回ぐらい	54	501	9	21	39	28.0%	16.6%	16.4%	14.3%	16.5%
不詳	3	12	-	-	-	1.6%	0.4%	-	-	-
【面会】										
総数	461	5,947	180	309	1,693	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月1回以上	91	1,162	49	104	828	19.7%	19.5%	27.2%	33.7%	48.9%
年2回～11回	287	4,072	115	188	737	62.3%	68.5%	63.9%	60.8%	43.5%
年1回ぐらい	82	704	16	17	127	17.8%	11.8%	8.9%	5.5%	7.5%
不詳	1	9	-	-	1	0.2%	0.2%	-	-	0.1%
【帰省】										
総数	327	16,657	762	904	652	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
月1回以上	103	4,025	378	220	399	31.5%	24.2%	49.6%	24.3%	61.2%
年2回～11回	178	11,694	346	653	230	54.4%	70.2%	45.4%	72.2%	35.3%
年1回ぐらい	43	924	37	26	23	13.1%	5.5%	4.9%	2.9%	3.5%
不詳	3	14	1	5	-	0.9%	0.1%	0.1%	0.6%	-